

# プログラミング学習教材に係る 情報提供依頼書（RFI）

令和8年8月20日  
奈良市教育部  
教育DX推進課

### 1. 目的

今回の情報提供依頼は、本市の市立中学校で使用するプログラミング学習教材の調達に係る調達仕様書の内容検討を目的として、情報提供をお願いするものです。

### 2. 調達スケジュール

現時点での調達スケジュール予定は次の通りです。

| 日程      | 概要                  |
|---------|---------------------|
| 令和8年8月  | 情報提供依頼(本文書)         |
| 令和8年10月 | 意見募集(RFC) (予定)      |
| 令和8年12月 | 入札公告 (予定)           |
| 令和9年1月  | 事業者決定 (予定)          |
| 令和9年4月  | プログラミング学習教材の導入 (予定) |

### 3. 本情報提供に係る手続

#### 3.1. 質疑応答

本情報提供依頼に関する質問は、以下の通りお願いします。

##### (1)受付方法

メールにて必要事項を明記のうえ、「(様式第1号)プログラミング学習教材に関する質問書」を添付ファイルとして以下へご送信ください。

ア. メール件名 「【RFI 質問】(プログラミング学習教材)\_〇〇株式会社」として  
ください。「〇〇株式会社」の部分には貴社名を記載してください。

イ. 送信先

6. 問い合わせ先 E-mail に記載のアドレスへお送りください。

##### (2)受付期限

令和8年9月1日(火) 正午

##### (3)質問の様式

「(様式第1号)プログラミング学習教材に関する質問書」に記載してください。

##### ① 質問者名

商号又は名称、担当者、電話番号、メールアドレス

##### ② 質問内容

##### (4)質問の回答

令和8年9月4日(金)までにホームページにて公開させていただく予定です。

#### 3.2. 依頼提出内容

本書内容を踏まえたうえで、下記の必要資料の提出をお願いします。様式の指定はありません。

##### (1)会社概要

##### (2)提案する機能の趣旨、概要

提案書には、「4. プログラミング学習教材の条件」を確認のうえ特徴等を明記してください。

##### (3)導入実績

##### (4)概算見積書

初期経費およびランニング経費(運用・保守サポート費用等)がわかるもの。ただし、利用人数2,200人、学校数を22校とすること。

##### (5)提出方法

「6. 問い合わせ先」記載のメール連絡先まで情報提供資料を提出してください。

##### ① 提出期限

令和8年9月10日(木)まで

② 様式

形式は定めません。任意様式にて提出ください。

4. プログラミング学習教材の条件

【システム・動作環境に関する条件】

- (1) 生徒の使用端末である、ChromeOS に対応していること。
- (2) Chrome ブラウザに対応していること。
- (3) Google アカウントを利用した SSO（シングルサインオン）ができること。

【カリキュラム・学習内容に関する条件】

- (4) 中学校技術・家庭科（技術分野）内容「D 情報の技術」において、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングの解決」を履修できる内容であること。
- (5) テキストコーディングを用いたプログラミングを学習できる内容であり、使用言語を明記すること。（HTML CSS Java Script Python 等）
- (6) 基礎（タイピングやプログラミングの基礎文法）から応用（生徒独自のコンテンツ制作等）まで、段階的に取り組めるカリキュラムを有すること。
- (7) 技術分野だけでなく、「総合的な学習の時間」など他教科等における探究的な学習でも活用できる内容であることが望ましい。

【学習データの連携・管理に関する条件】

- (8) 本市の準備するクラウドに生徒の学習データを出力できること。
- (9) 名簿データの取り込みについては国際技術標準（OneRoster）に対応していること。
- (10) 発行した生徒のアカウントにおいて、在学中（卒業時まで）は生徒の制作データや学習履歴が継続して保持・閲覧できること。

【セキュリティの条件】

- (11) 「プライバシーマーク」（JIPDEC）や「ISMS 適合性評価制度」（ISO/IEC 27001）等の、個人情報保護に係る外部機関による認証を保持していること。
- (12) IDC は国内にあること。

【その他の条件】

- (13) 指導者や生徒など本教材を利用する利点や特徴を明記すること。
- (14) 次期学習指導要領における「情報・技術科（仮称）」の新設を見据え、教員の専門性や経験の差に依存することなく、均質な学びが実現できる機能・取組を明記すること。  
例：専門性を補完する機能、教員の負担軽減を図る機能、教員へのサポート体制など
- (15) プログラミング学習教材の利用率の向上及び教育効果の検証につながる分析作業を行うこと。

5. 留意事項

本情報提供の実施にあたっては、以下の事項についてご了解・ご了承をお願いします。

- (1) 本情報提供の実施に要する費用は、各事業者の負担とします。

- (2) 本情報提供の依頼は、業務に関する技術や価格等の各種情報を得ることを目的としており、契約に関する意図や意味を持つものではありません。
- (3) 本情報提供の依頼に対して、提案事業者からどのようなご提案をいただいても、それをもって将来の教材の購入を約束するものではありません。
- (4) ご提供いただいた情報・資料については、当組織内で複写・配付・活用させていただきますが、提案事業者に断りなく他地方公共団体や他社への配付はいたしません。なお、更改時の仕様書に採用する場合がありますので、その際は、ご協力をお願いします。ご提供いただいた情報・資料につきましては返却いたしません。
- (5) ご提供いただいた情報については、後日問い合わせや見積もりのお願いをさせていただく場合がございますので、ご協力をお願いします。
- (6) 本情報提供依頼を通じて知りえた情報は、本情報提供以外では使用しないでください。

6. 問い合わせ先

担 当：奈良市教育委員会事務局 教育 DX 推進課

所在地：〒630 - 8580 奈良市二条大路南一丁目 1 番 1 号

T E L：0742 - 34 - 4602

E-mail：[kyoiku-dx▲city.nara.lg.jp](mailto:kyoiku-dx▲city.nara.lg.jp)

※送信の際は、「▲」を「@」に読み替えてください。